

**職場を基礎に、憲法を守りいかすととりくみをすすめ、
仲間を増やし、子どもたちに平和で豊かな教育を**

沖縄県知事選挙で「新基地建設 NO」を掲げた玉城デニー氏が、安倍政権が全面的に支援した相手候補に大差をつけ当選し、「新たな基地はいらない」との明確な意思を示すとともに、安倍政権に痛烈な審判を下しました。「オール沖縄」の勝利は、市民と野党の共闘の前進によって安倍政権を退陣に追い込む展望を示しています。

教育の目的を、「人格の完成」ではなく、国や一部財界の求める「人材」育成に変質させる動きが強まっています。憲法 26 条の改悪により、教育の目的を「国の未来を切り拓く」ためのものとするのは、子どもたちに「お国のためにつくせ」と教える教育をすすめることにつながります。

柴山文科大臣が、就任記者会見で教育勅語を道徳教育等に活用できる考えを示したことにもそれはあらわれています。“天皇のために命をささげよ”と教え、子どもたちを侵略戦争に駆り立てた教育勅語を押しつけ、「戦争する国」づくりに道を開くものであり、断じて容認できません。

相次ぐ自然災害による被害への支援の輪が広がっています。また、各地で教室の空調設備設置や学校施設の耐震化を求めるとりくみがすすんでいます。子どものいのちと健康を守ることを最優先する観点から、改めて学校や教育のあり方を考えることが求められています。

「教育のつどい 2018」では「子どものありのままから話そう」と呼びかけられ、多くの父母・保護者、国民とともに学び合いました。学テ実態調査から、「『ウチの学校は市内で最下位だから』などと子どもたちが言うようになった」等、教育がゆがめられ子どもたちが苦しめられている実態がうきぼりになりました。子どもの声を聴き、子どもを語り合い、学び合うとりくみを各地ですすめることが求められています。

一刻の猶予も許されない長時間過密労働の是正に向けて、多くの組織が実効ある対策を求めて交渉をおこない、独自の討議資料等の作成や職場での論議がすすめられています。しかし、教職員定数改善や労安体制の確立が十分すすんでいないことや精神疾患による休職者数が高止まりしていることがあきらかにされています。また、年単位の変形労働時間制の導入は、長時間過密労働を解消するどころか、その実態をおおい隠すものでしかありません。教職員定数改善などの抜本的な対策こそ急務です。

「組織建設 3 か年（2015～2017 年度）計画」で組織強化・拡大の意識的なとりくみが展開され、現勢回復を展望できる到達を連続して築いてきました。また、新採者総あたりや職場・分会訪問のとりくみ、全教共済の加入促進運動と結ぶとりくみ等重要な経験を生み出しました。青年部活動の活性化は全国各地で新たなエネルギーを生み出しています。

この秋、職場を基礎に、職場の要求を練り上げ、組合の存在と役割への確信を広げるチャンスです。9 条改憲を許さず、憲法を守りいかすととりくみや、長時間過密労働の解消、「教育全国署名」運動、確定闘争などのとりくみを職場で広げ、全教共済の加入促進運動と結び、「秋の職場活動活性化、組織の拡大強化月間」における 1 万人対話を成功させましょう。そして、全教を強く大きくして、すべての子どもたちの成長・発達を保障する学校と、平和で夢や希望を実現できる社会をともにつくりましょう。